

新潟県燕三条地域の企業が一斉に工場を開放する、年に1度のイベント
開け、KOUBA！この秋、燕三条の職人が輝く！！

「燕三条 工場の祭典」 関連イベントのご案内

工場・耕場・購場、3つのKOUBAを楽しむ秋の祭典

開催期間：2019年10月3日(木) - 6日(日)



Photo © 「燕三条 工場の祭典」 実行委員

金属加工をはじめ、鍛冶や木工などの技術が集まる新潟県燕三条とその周辺地域の名だたる企業が一斉に工場を開放し、ものづくりの現場を見学・体験できるイベント「燕三条 工場の祭典」は、2013年にスタートし、今年で開催7回目を迎えます。今年、「開け、KOUBA！この秋、燕三条の職人が輝く！！」のテーマのもと、113拠点(8月5日時点)の工場を開放し、2019年10月3日(木) - 6日(日)、4日間にわたり開催します。

2019年は、製品を産み出す「KOUBA (工場)」90社、農業に取り組む「KOUBA (耕場)」11社、そして地元の産品に触れ購入できる「KOUBA (購場)」12社が参加します。

普段は一般公開されていない数多くのKOUBAの扉が開かれる年に1度の特別なこのイベントでは、KOUBAで働く人々と気軽に触れあい、職人たちの手仕事を間近に見てもものづくりの現場を見学できるほか、体験型のワークショップやオフィシャルバスツアーにも参加することができます。さらに、夜のKOUBAを開放し、毎夜各所でレセプションイベントも開催します。KOUBAを見学してみたい方、ものづくりに興味のある方、職人と話してみたい方など、大人から子供まで気軽に楽しむことができるイベントです。

燕三条のさまざまなKOUBAを巡り、ものづくりの魅力を体感ください。

読者お問い合わせ先

「燕三条 工場の祭典」 実行委員会 事務局
 公益財団法人燕三条地場産業振興センター 燕三条ブランド推進部 企画推進課 新潟県三条市須頃1-17 TEL. 0256-35-7811

掲載・取材に関するお問い合わせ先

燕三条 工場の祭典 PR 事務局/ HOW INC.
 TEL. 03-5414-6405 / FAX. 03-5414-6406 / EMAIL. pressrelease@how-pr.co.jp

開催概要

開催名 「燕三条 工場の祭典」
 開催期間 2019年10月3日(木) - 10月6日(日) 9:00-17:00 (*12:00-13:00を除く)
 開催場所 新潟県三条市・燕市全域 及び 周辺地域
 参加KOUBA数 113拠点 (工場：90社 耕場：11社 購場：12社)
 交通 上越新幹線・JR弥彦線「燕三条駅」下車
 各KOUBAへの訪問は、電車、タクシー、レンタサイクル、レンタカーなどをご利用ください。
 参加費 無料
 Website <http://kouba-fes.jp>
 SNS <https://www.facebook.com/koubafes> <https://www.instagram.com/koubafes/> <https://twitter.com/koubafes>

運営チーム

主催・運営 「燕三条 工場の祭典」 実行委員会
 全体監修：method / アートディレクション&デザイン：SPREAD / 書籍編集：山田泰巨 / 撮影：神宮巨樹、古平和弘
 プロジェクション：岸本智也 / ウェブ：株式会社スマイルファーム / プレス：HOW INC.

オフィシャルツアー このツアーでしか訪問できない工場を巡る 8月26日(月)より受付スタート



お申し込みいただいた方のみが見学できる工場にご案内するスペシャルツアーを開催します。毎年あつという間に完売の人気ツアーは、それぞれのテーマに深い知識を持つガイドによる案内付き。ツアーの合間には、地元の美味しいランチもお楽しみいただきます。

開催ツアー

- 「越後三条鍛冶集団」 永桶菊弘丸刃物製作所、平木鋏製作所、三条製作所
- 「日本の伝統を支える男達」 小由製作所、竹風駒、キセル屋のぼる
- 「木工加工の多様性」 関山賢作木工所、井村木工所、猪本木工
- 「燕の産業ルーツといま」 石駒、皆川彫金、今井技巧
- 「ハウスウェアの作り方」 鍛工舎、イソダ器物、燕物産
- 「現在の産業に至るルーツを辿る」 キセル屋のぼる、イケダ、吉金刃物製作所

詳細、お申し込みはリンクよりご覧ください。 <https://kouba-fes.jp/tour-2019>

レセプション



夜のKOUBAを開放し職人たちと交流できるイベントを実施します。

オフィシャルレセプション

10月3日(木) 燕市産業史料館

KOUBAのレセプション

10月4日(金) 山谷産業
 10月4日(金) 5日(土) テーエム・近藤製作所・ヤマトキ製作所
 10月6日(日) 諏訪田製作所

KOUBA見学・体験

KOUBAが趣向をこらしたワークショップや見学ツアーを開催します。子供から大人まで楽しめるイベントです。

詳細、お申し込みはリンクよりご覧ください。 <https://kouba-fes.jp/category/2019>



永塚製作所

三条特殊鋳造

田中銜機工業所

ひうら農場

「燕三条 工場の祭典」 オフィシャルイベント 「産地の祭典」

会場 三条ものづくり学校多目的ホール 新潟県三条市桜木町 12-38 (三条駅より徒歩20分)
 会期 10月4日 (金) - 6日 (日) 10:00-17:00
 備考 入場無料、一部有料コンテンツあり。「燕三条 工場の祭典」とは開催期間が異なりますのでご注意ください。

‘集え、産地！燕三条から産地の未来を創造する’をテーマに、全国の産地で開催されている工場見学イベントと、燕三条を中心とした近隣エリアのメーカーやショップが三条ものづくり学校に一同に集います。各産地の展示、製品の販売、ワークショップ、トークやライブイベントなどを開催。産地の今を生きる人々と繋がり、共に学び、ものづくりの町の未来を創造する試みです。

各地の工場見学イベント

大正・港ものづくり事業実行委員会	大阪府大阪市大正区
おおたオープンファクトリー	東京都大田区
スミファ	東京都墨田区
NODATE	福島県会津若松市
瑞浪オープンファクトリー	岐阜県瑞浪市
関の工場参観日	岐阜県関市
DESIGN WEEK KYOTO	京都府京都市等
ハタオリマチフェスティバル	山梨県富士吉田市

燕三条 およびその周辺のメーカー、ショップ

‘L'hirondelle、プログラフ株式会社、METEORI、プリンス工業株式会社、須藤胤屋、株式会社タケダ タケダデザインプロジェクト事業部、移動本屋BookKnock、キャプテンスタッグ株式会社

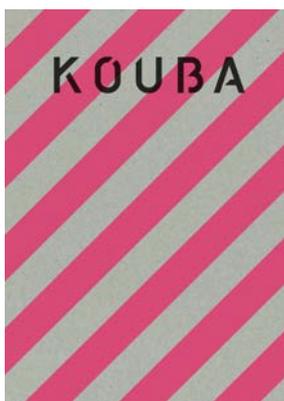
SPECIAL CONTENTS

日時：10月5日 (土) ・ 6日 (日) 15:00～15:30
 ものづくり学校にて、2001年にスイスで誕生した打楽器“ハンドパン”で活動するハンドパン奏者 久保田リョウヘイ (活動拠点 三条市) のライブを開催します。 <https://www.ryohei-kubota.com>



「燕三条 工場の祭典」 オフィシャルブック

本イベント初の書籍「燕三条 工場の祭典 オフィシャルブック 2019」を発売します。燕三条地域の歴史や魅力、そして「燕三条 工場の祭典」をくまなく楽しんでいただくために、参加KOUBA (工場・耕場・購場) の魅力を詰め込んだ書籍となっています。



書籍概要	
書籍名	「燕三条 工場の祭典 オフィシャルブック 2019」
著者	「燕三条 工場の祭典」 実行委員会
発売日	2019年8月27日 (火)
定価	2,000円 (税込) オリジナルバック込
サイズ	B5判上製本 360ページ
発行	「燕三条 工場の祭典」 実行委員会

書籍発売関連イベント

森岡書店	2019年8月27日 (火) -9月1日 (日)
代官山 T-SITE 蔦屋書店	2019年8月31日 (土) -9月25日 (水)

教育機関との連携プロジェクト

長岡造形大学の学生と参加工場がタッグを組み、「燕三条 工場の祭典」期間中の装飾を施すプロジェクトが2017年からスタートしました。大学との連携プロジェクトを通じて、社会活動を行い、学生と燕三条地域が繋がることで、ものづくりや各KOUBAの存在をより身近に感じてもらい産学官連携をはかっています。



JR燕三条駅の装飾



永塚製作所の装飾



永塚製作所の装飾

「燕三条 工場の祭典」のデザイン

これまで燕三条地域では、火の赤と金属の黒を象徴し、赤と黒によって金属加工の産地を表現してきました。「燕三条 工場の祭典」では、ロゴやブックレットなどのアートディレクションをクリエイティブユニット「SPREAD」が担当。金属加工時に使用する炉を覗くと炎に含まれる鮮やかな「ピンク」が目を引くこと、工場の素材や工場自体の色には「シルバー」が多く見受けられることから、これまでの「赤と黒」のイメージを「ピンクとシルバー」に更新しました。また、斜め45度の黄色と黒のストライプで表現される立ち入り禁止区域の標識にも着想を得ています。参加企業は、事前に配布されたピンクの「テープ」とピンクストライプの「段ボール」を使用し、KOUBAの入口から内部、また近隣を含む町の至る所に誘導サインや看板を設置するなど、それぞれが工夫を凝らし、来場者を迎えています。また2016年より、工場の祭典のピンクxシルバーに加え、耕場の祭典は太陽と水をイメージしたピンクxブルー、購場の祭典は愛と経済をイメージしたピンクx黄色のテーマカラーが誕生し、それぞれのKOUBAは各自テーマカラーのTシャツをユニフォームとして着用しています。



工場のユニフォーム



耕場のユニフォーム



購場のユニフォーム



道の駅 庭園の郷保内



「工場」のロゴ



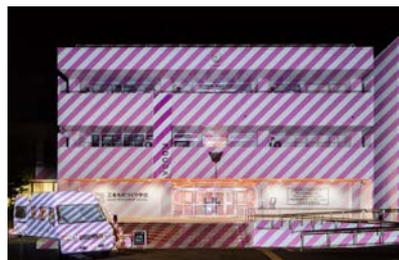
耕場のロゴ



購場のロゴ



2019年キービジュアル



プロジェクション

JRとのタイアップも！

2017年よりスタートした「燕三条 工場の祭典」と連動したJRの車両装飾。今年は9月上旬より会期終了まで、新潟県内の路線を走ります。



2019年度 参加予定KOUBAより一部抜粋

山忠（工場）

心を込めた手仕事が、海を越えて愛される。1949年創業。市内唯一のアイスピックを製造する金属加工会社。登山に使うピッケルの形に似ていることから「アイスピッケル」と名付けられた製品は海外でも評価が高く、金属部分にステンレスを使い、柄も総金属製や木部をもつものなどさまざま。使う人への思いを馳せた逸品が、海を越える。



時田工場/ にいがた県央マイスター（工場）

必見！へら絞り。1967年創業。円盤状の金属板を金型とともに旋盤に取り付けて回転させ、金属棒で圧力を掛けて目的の形に成型する加工方法「へら絞り加工」で知られる加工工場。へら絞りでも特に高度な技法「空絞り」を操り、より複雑な形状や少量の生産にも対応できることで知られる。



ツバメコーヒー（購場）

愛着もてる道具を取り扱う珈琲店。2012年開業。燕市吉田にある、大きな書棚とテーブルを備えたライブラリーのような自家焙煎コーヒー店。ヘアサロンに併設されたショップでは、オリジナルで焙煎されたコーヒーのほか、燕三条エリアの製品を中心に、修理をしながら長く愛着の持てるものをセレクトして販売する。



小杉農園（耕場）

笑顔が実る果実づくり。1955年頃開園。燕市の中ノ口川沿いの肥沃な土地で、梨、柿、桃などの果物を栽培する果樹園。現在は3代目の小杉祥子さん、その母の愛さんが、女性目線から安心して安全な果物づくりに取り組む。樹齢80年超の木からなる新高梨をはじめ、南水梨やあきづき梨など、多様な品種を生産。



参考情報

燕三条地域について

暮らしを支える職人の街

日本の国土さながら、南北に長い新潟県のほぼ中央に位置する燕三条。燕市と三条市の二市からなるこの地域に横たわるのが、日本で最も長い川である信濃川です。万葉の時代から人々に愛された信濃川は肥沃な土地を育て、古くから農耕を支えてきました。この農業を起点に燕三条では工業や商業が発展し、世界有数の「ものづくりのまち」として知られるようになります。しかしなぜ、農業から工業へと広がりを見せたのでしょうか。その歴史をひも解くと、燕三条の転機は江戸時代の和釘づくりにありました。

信濃川とその支流である五十嵐川が合流する三条周辺に暮らす農民は、頻発する洪水によって貧しい暮らしを余儀なくされてきました。そこで大官所より和釘製造が副業として推奨され、それが根付いたとされます。やがて越後で新田開発が盛んになると開墾用農機具の製造へと発展。さらに大工道具や包丁などの刃物鍛冶へと転換していきます。一方、江戸時代に鋳起銅器の製法が伝えられた燕は、早くから和釘鍛冶は銅器などの加工業へと移行します。大正時代には洋食器の生産が盛んになり、現在につながる金属加工の一大生産地へと発展をみせました。工業化が進んだいまも、両市には鍛冶や鋳起を始めとする伝統的な技法を受け継ぐ職人が多く活躍します。

明治初期、海運が栄えた新潟県は日本一の人口を誇るほど繁栄を見せました。越後平野の中心で河川が合流する三条は物資の集散地として発展し、金物商人が日本全国に燕三条製品を届けるようになります。こうして燕三条の優れた金属製品が日本中へと知れ渡るようになりました。燕三条はいまも、人口比率に対して日本でもっとも社長が多い街といわれます。それは家族経営や数人程度の社員による小規模な企業が、刃物や金属洋食器などの金属製品を中心に多種多様な製品を作り出すからに他なりません。古くから日本の暮らしを支えてきた燕三条。その「ものづくり」を支える農工商の魅力をぜひその目で確かめてください。



「燕三条 工場の祭典」の活動実績

2013年に初回を迎えて以来、今年で7回目を迎えます。毎回、テレビ番組や新聞をはじめとする数多くのメディアにより取り組みが発信され、日本全国に大きな反響を呼びました。会期中以外にも燕三条以外での展示プロモーションの実施や各種アワードを受賞しています。

受賞歴・イベント参加実績

2014年 ふるさとイベント大賞にて選考委員特別賞を受賞

産業観光まちづくり大賞にて経済産業大臣賞、グッドデザイン賞を受賞

世界最大のデザインの見本市ミラノサローネに出展、「燕三条 工場の祭典」の取り組みをイタリア・ミラノより世界に向けて発信。

2015年 東京都港区のアクシスギャラリーにて、「燕三条 工場の祭典—産地のプロセス」を開催

2016年 第3回「燕三条 工場の祭典」のポスターが「日本観光ポスターコンクール」にて総務大臣賞を受賞

2017年 台湾デザインセンター運営の「台湾文博会」より招待をうけ、エキシビジョン「工藝現場 Crafts LIVE」を開催
Red Dot Award : Communication Award 2017

2018年 第8回 地域再生大賞を受賞

2019年 GERMAN DESIGN AWARD 2019 : Excellent Communication DesignカテゴリーにてWINNER賞を受賞

来場者実績

2013年 第1回 10,708名

2014年 第2回 12,661名

2015年 第3回 19,312名

2016年 第4回 35,143名

2017年 第5回 53,294名

2018年 第6回 53,345名